

令和4年度事業報告書

ともえ学園

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、質の高いサービスを提供を行えるよう多方面にわたるさまざまな取り組みを行った。

破壊や老朽化した箇所の修理、交換等を随時行った。

各部署、各係の取り組みについても基本理念、重点事項を踏まえ、次のとおり令和4年度事業を実施した。

事業

①施設入所支援事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
②生活介護事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
③短期入所事業	定員2名			
④日中一時支援事業	定員若干名			

基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

- ①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。
- ②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。
- ③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

重点事項

- ①利用者中心の質の高いサービスを提供する個別支援計画の作成とモニタリング
個別支援会議の充実、ご家族の参加
- ②高齢化への対応と機能低下の防止、感染症予防対策
- ③強度行動障害への取り組み、強度行動障害支援者養成研修受講
- ④日中活動の充実 活動系の拡充と専従
- ⑤虐待防止に対する取り組み
- ⑥職員研修、人材育成の取り組み
- ⑦職員の健康推進、ストレスチェック、各種依存症のチェック
- ⑧建物設備、備品の保守管理、営繕、更新及び壁の修繕、厨房機器保守管理
- ⑨安全と日常の危機管理
あらゆる危機、危険を想定した環境と防災設備の整備と訓練
労働災害を発生させないための研修と適切な作業着、作業用品の提供
- ⑩広報活動
ホームページ、ブログ等を活用したタイムリーな情報の提供

1 利用者の状況

①年間の入退所者状況

定員70名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月初在園数	70	70	70	70	70	70	69	70	70	69	70	70
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
退所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
月末在園数	70	70	70	70	70	69	69	70	69	69	70	69

②短期入所事業受入状況

定員 2 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受入人数	3	3	3	3	3	4	3	3	0	0	3	2	30
受入回数	5	5	4	5	6	6	6	4	0	0	3	3	47
受入延日数	53	55	51	50	54	55	52	42	0	0	44	38	494

③日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受入人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受入回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受入延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④在所者状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	1	0	1
20～25歳未満	0	0	0
25～30歳未満	2	1	3
30～35歳未満	1	0	1
35～40歳未満	6	0	6
40～45歳未満	4	0	4
45～50歳未満	13	0	13
50～55歳未満	17	1	18
55～60歳未満	13	2	15
60～65歳未満	7	0	7
65～70歳未満	1	0	1
計	65	4	69

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	2	0	2
1～5年未満	1	1	2
5～10年未満	2	0	2
10～15年未満	6	0	6
15～20年未満	6	0	6
20～30年未満	33	2	35
30～35年未満	2	1	3
35～40年未満	13	0	13
計	65	4	69

診 断 名	男	女	計
自閉症	49	2	51
精神発達遅滞	10	1	11
てんかん	4	0	4
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	65	4	69

障害支援区分	男	女	計
6	28	1	29
5	25	3	28
4	12	0	12
3	0	0	0
計	65	4	69

出身市区町	広島市中区	広島市東区	広島市南区	広島市佐伯区	広島市安佐北区	広島市安佐南区	広島市安芸区	大竹市	呉市	福山市	廿日市市	三次市	東広島市	尾道市	竹原市	江田島市	庄原市
男	3	2	4	10	3	4	1	2	8	5	1	4	1	2	1	1	2
女	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	6	10	3	4	1	2	8	5	1	4	1	2	1	1	2

安芸郡熊野町	世羅郡世羅町	島根県松江市	島根県飯南町	山口県周南市	山口県岩国市	山口県下関市	長崎県長崎市	東京都渋谷区	計
1	1	2	1	1	2	1	1	1	65
0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
1	1	2	1	1	2	1	1	1	69

2 トライアングルグループ

①グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。

ひとり一人が安定した生活を送られるよう、明るく過ごしやすい生活環境と個別配慮された生活パターンを支援、提供していく。

②まとめ

新型コロナウイルス感染症、11月利用者1名、職員1名が罹患。3月利用者4名、職員1名が罹患。

行事について、ドライブ外出、散策、コンビニでの間食購入など行った。家族とのグループレク、外食を伴う日帰り旅行は行わなかった。

活動について、クラブ活動、午後からの個別活動、ウォーキングを行った。

面会について、LINE面会や15分の対面面会を行った。

利用者について、短期利用を継続されていた方が11月よりレインボーグループに入所異動、その他の短期利用者の受入れを行った。

職員について、1名が退職、1名職種異動、1名入職。

今後も利用者の人権を守り、安全で安心した生活が送れるよう統一した支援を行う。そして利用者、職員共健康に留意し、毎日を生き生きと過ごせるよう配慮する。

3 レインボーグループ

①グループ目標

言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。

体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。

安全で清潔な生活環境を提供する。

生き甲斐を持てる生活を目指す。

②まとめ

クラブ活動を月～金曜日の午前に行った。午後からはウォーキングを行った。

夏の暑い時期と冬の寒い時期は屋外での活動は控えた。

行事について、ドライブ外出、散策、コンビニでの間食購入など行った。日帰り旅行、喫茶店等での飲食、グループレクは実施しなかった。

新型コロナウイルス感染症、11月利用者10名、職員6名が罹患。

利用者について、10月死亡退所1名、11月入所1名、12月退所1名、2月入所1名
3月死亡退所1名。

利用者が安心して快適に過ごせる環境作り、健康に過ごしてもらえるようウォーキングや口腔チェック、個別対応などに努める。

4 はなまるグループ

①グループ目標

利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重、健康で豊かな生活を支援する。

清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

②まとめ

活動について、午前の活動は日中活動課主導の元、前年と同じ活動を行った。土曜日は、前年度に引き続きグループ活動として工芸・園芸・手芸の3つのグループに分かれて行った。

新型コロナウイルス感染症、7月職員1名が罹患。利用者の感染はなかった。11月利用者2名、職員1名が罹患。3月職員1名が罹患。

5 日中活動

①目的：活動の企画、運営を行う。

活動センター、学園周辺の清掃、環境整備を行う。

②まとめ

安全でより充実した日中活動のサービス提供が出来るよう次年度も取り組む。

6 医療

①目的

バイタルサイン、症状の観察

受診判断、受診引率、入退院調整、産業医、嘱託医との連携

外傷時、病気静養時の対応

スキンケア、フットケア

口腔ケア、口腔健康管理、歯科受診

生活習慣病予防－定期健康診断、歯科健診、健康増進、介護予防の実施

肝疾患対策

難病対策

がん対策

感染症対策－新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルス予防策
の実施と指導、肝炎ウイルス検査の実施とワクチン接種、その他感染症対策

熱中症予防対策

自閉症、精神遅滞、統合失調症、発達障害、強度行動障害の治療と看護
医療安全、医薬品や医療機器管理及びガイドライン作成、実施、評価

②まとめ

感染状況に応じ必要な感染対策のマニュアルを作成中。社会情勢に応じ、都度マニュアルの見直しを行った。

医師の指示の元、流行時期における面会、外出、外泊等は中止とした。

7 栄養食生活

利用者に安全な食事を提供するように衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、多彩な強化磁器食器を使用し、また温かい食べ物は温かく、冷たい食べ物は冷たくといった適温の食事提供や個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。また彩りや盛り付け等にも配慮して提供した。

8 事務

笑顔、親切、丁寧、確実、正確を基本として、関係法令並びに、社会福祉法人ともえ会の諸規程、ともえ学園内規を遵守して日々行った。

9 防災管理

災害発生時は、速やかで適切な対応となるよう危機管理体制を充実させた。

消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を行った。

緊急時への対応能力向上を図った。

新任職員対象の防災研修会を実施した。

土砂災害を想定し避難訓練を行った。

10 安全運転管理

交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する為の取り組みを行った。

車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意した。

トライザセーフティinひろしまへ11チーム参加。

11チーム中8チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。

11 危険物取扱者

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行った。

12 運営会議

施設運営の決定機関として園長、次長、全ての部課長の8名で構成し、毎月、月初めに開催した。

13 支援部課長会議

利用者処遇全般について協議し、運営会議に提案する。毎月1回、開催した。

14 個別支援会議

ケース担当者、グループ課長、看護課長、栄養課長、サービス管理責任者の5名で構成、毎月中旬以降12名前後の方を対象に実施。

半年毎に各利用者の会議を設け、モニタリングとサービス内容について協議した。
急遽変更等あった場合は必要に応じ会議を追加した。

4～9月迄は新型コロナウイルス感染症対策として、対面での会議は行わず、サイボウズを使用したリモート会議を行った。10月からは、職員室で対面の会議を行った。

15 朝礼

参加者は夜勤者以外の全出勤者とし、職員室を会場として毎日9時から実施した。
各部署の日誌をプロジェクターからスクリーンに表示させ、担当者が発表した。
毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った

16 園内行事

一年を通して季節を感じる行事など、全体で参加出来る行事として学園内で計画実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防の為、中止や規模の縮小などした。

17 対外行事

新型コロナウイルス感染症予防の為、対外行事への参加は行わなかった。

18 外泊

新型コロナウイルス感染症予防の為、外泊は全て自粛していただいた。

19 虐待防止委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で、毎月定例の運営会議時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。

20 感染症対策委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で毎月定例の運営会議の時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。

21 危機管理委員会

委員長：園長 委員：次長、部長、全課長の構成で毎月定例の運営会議の時に開催し、会議内容は運営会議録と共に全職員に周知した。

22 衛生委員会

健康障害の防止、健康の保持増進対策の検討を行った。
労働災害の原因及び再発防止対策の検討を行った。
健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項の検討を行った。

23 人権委員会

目標と具体的な事例を挙げて振り返りを毎月、グループ会議後に人権委員会会議で協議し、人権意識を高めた。

24 サービス向上委員会

サービス向上の企画、検討、提案、全職員対象にサービス自己評価チェックの実施を行った。

25 健康体操クラブ

身体を動かし、楽しみながら健康維持につなげる体操を行った。

26 フラワークラブ

外部から専門の講師に来園して頂き、フラワーアレンジメントを教えていただいた。

27 書道クラブ

書道を通して、書く楽しさを知り精神の安定を図る為、職員を講師として書道の時間を設定し企画、実施した。

28 グラウンド・ゴルフクラブ

グラウンド・ゴルフを通じてスポーツをすることの楽しみを持ってもらい、体を動かすことで、機能維持及び向上を目指した。

29 入浴

安全で安心して使用できる浴室の環境整備や管理を行った。

30 洗濯

洗濯全般について、業務が円滑に実施できるよう取り組んだ。

31 寝具

寝具の発注、搬入の事務を行い、在庫を適切に管理し、常に清潔な寝具を提供した。

32 営繕

要修繕箇所について、迅速、丁寧に対応し、必要に応じて業者に依頼した。
生活しやすい環境を整え整理整頓を行った。

33 食堂

食堂の環境整備、清掃、備品の管理を行い、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただける快適な空間と支援を提供するための企画検討を行った。

34 ともえ通信

ともえ通信の編集発行と、2021年度の事業報告書の編集発行を行った。

35 職員研修

利用者支援技術の向上と障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を学ぶための研修会を開催した。

Web研修の講座の中から、職員に視聴して欲しい講座を選択し、その講座を紹介し意見感想を募り、係がまとめて周知した。

新任職員に対し、ともえ学園での業務内容について理解を求めると共に、適切な支援が出来る職員の育成を行った。

36 親の会

ともえ親の会の事務局を担当し、親の会活動の企画、立案、事業実施援助を行った。

37 ボランティア

新型コロナウイルス感染症予防のため、施設ボランティアの受け入れは行わなかった。

38 実習

新型コロナウイルス感染症予防のため、実習の受け入れはなかった。

39 あいさつ運動

笑顔を忘れず積極的にあいさつをして、接遇のレベルアップした学園を目指す為の取り組みを行った。

40 環境美化

学園全体の環境美化を整えるため、職員の環境美化に対する意識を高める、綺麗な職場環境、生活環境作りに取り組んだ。

41 掲示物

施設に届いた各方面からの広報誌や、情報、案内等を掲示し、周知した。

42 エコロジー

限りある資源の活用方法と環境に配慮しエコロジーに対する意識を高める活動を行った。施設内で実践できるエコ活動の啓発を行った。

43 見学

見学者の受け入れ調整と利用者の生活に配慮して見学の案内を行った。

44 福祉協会

広島県知的障害者福祉協会の支援スタッフ部会員を専任し、オンライン等で情報交換した。

45 ホームページ

施設の情報公開と共有、交流をより深めるためすみやかな更新とコンテンツの充実を図った。ブログは毎日更新した。

46 施設整備

中庭屋根設置工事

排水路草刈り

居室壁面キッチンパネル貼付工事

生活棟シャワー室設置工事

生活棟トイレ改修工事
側溝 グレーチング設置
スチームコンベクションオープン更新
ストレスチェック
ノートパソコンの増設（W e b 会議、W e b 研修増加により）
タブレット端末の購入
給湯配管漏水補修工事
三次市上水道接続

2022年度 事業報告書

2023年7月1日発行

ともえ学園（障害者支援施設）

〒728-0002 広島県三次市西河内町10250番地

電話 0824-62-5130 ・ FAX 0824-62-1934

E-mail tomoe@pl.pionet.ne.jp